

平成 14 年度

岡山市書写教育研究会要項

1. 研究主題

自ら学び、友だちと共に書く楽しさや喜びを味わう書写学習

2. 期日

平成 14 年 11 月 19 日（火）

3. 場所

岡山市立御野小学校

4. 日程

13:40 14:00

14:45

15:10

16:30

受 付	公 開 授 業 3 年 A 組（教室）	移 動	開 会	研 究 協 議 指 導 講 評 （視聴覚）	閉 会
--------	------------------------	--------	--------	-----------------------------	--------

5. 公開授業

第 3 学年 A 組 題材「はと」

指導者 安達 久美子 教諭

6. 全体会

（1）開会あいさつ

岡山市習字教育研究会

会長

岡山市立旭竜小学校

坪井 宏允 校長

（2）来賓・役員紹介

岡山市立野谷小学校

牧野 敏之 教諭

（3）研究協議

・研究発表

岡山市立御野小学校

三村 忠 教諭

矢吹加奈子 教諭

・研究協議

岡山市立三勲小学校

岸本 高樹 教諭（司会）

岡山市立竜ノ口小学校

片山 敬子 教諭（記録）

岡山市立横井小学校

神頭 晃代 教諭（記録）

岡山市立御野小学校

安達久美子 教諭

（4）指導講評

岡山市立吉備小学校

高橋 三穂 教頭

（5）閉会あいさつ

岡山市立御野小学校

岡本 清 校長

1 題材 ひらがなのむすびと曲がり「はと」

2 目標

- ひらがなの結びと曲がりの筆使いを理解し、「はと」の字形を整えて、ていねいに書くことができる。
- 自分のめあてに沿った練習方法を選び、進んで学習に取り組むことができる。
- 結びや曲がりのあるひらがなを毛筆で練習することにより、硬筆でも字形を整えて書こうとする態度を育てる。

3 指導計画

第1時 ひらがなの結びと曲がりの筆使いを知り、ていねいに書く。(本時)

第2時 字形にも気をつけて、ていねいに書く。

第3時 結びや曲がりの筆使いに気をつけてまとめ書きをし、硬筆でも注意して書く。

4 指導上の立場

- 第3学年の毛筆の指導では、「点画の筆使いや文字の組み立て方に注意しながら、文字の字形を整えて書くこと」がおもなねらいである。

本単元の題材「はと」は、基本点画の筆使いのうち、ひらがなの結びと曲がりを含む文字である。これまでに「ビル」「つり」で曲がりの筆使いを学習しているが、結びは、初めてである。結びの筆使いを知り、曲がりや筆脈にも気をつけながら、字形を整えて書かせたい。また、毛筆で学んだことを硬筆にも生かせるようにしていきたい。

- 本学級の児童は、「練習すると上手になる」「筆をつかうことが楽しい」という思いで、興味を持ち学習に取り組んでいる。しかし、姿勢や筆使い、準備や片づけなどにおいては、個人差が大きい。また、手本を見て書くということが定着していない児童もいる。
- 本校の研究テーマ「自ら学び、友達と共に書く楽しさや喜びを味わう書写学習」に迫るために、次のように工夫をした。結びや曲がりの練習用紙、字形練習用のアクリルシート、気軽に練習できる水書用紙などを用意し、自分のめあてに沿った練習方法が選べるようにしている。また、水書用紙の練習では、めあてが意識できるように「は」と「と」にコーナーを分け、筆使いや字形について友達と励まし合いながら練習できるようにした。最後に友達との相互評価を取り入れ、自分や友達のがんばりやよいところに気づき、伸びを認め合うと共に、書く楽しさや喜びを味わえるようにしたい。

5 本時案（第1時）

目 標	ひらがなの結びと曲がりの筆使いを知り，ていねいに書くことができる。		
学 習 活 動	教 師 の 支 援		準 備
1 試し書きをする。 2 めあてをもつ。	- 筆ならしをすることにより，心と体をほぐすようにする。 - 本時は「はと」を学習することを知らせ，姿勢や筆の持ち方についてしっかりと意識づけてから，試し書きを行うようにする。 - 手本と試し書きを比べて，うまく書けたところやうまく書けなかったところを見つけ，発表できるようにする。 「は」の結びの例をいくつか示し，どの書き方がよいかを考えさせ，結びの筆使いに気づきやすくする。 「と」の曲がりについても例を示し，筆使いや字形に気づきやすくする。 「は」の結びや「と」の曲がりの筆使いを，範書や空書により，理解しやすくする。		手本 「は」の例 「と」の例 水書板
3 練習をする。 4 まとめをする。		結びや曲がりの筆使いに気をつけて，ていねいに書こう。	
		- 全体のめあてをもとに自分のめあてを決め，数名に発表させることにより，意欲付けをする。 - 結びは初めてなので，全員に結びの筆使いが練習できる練習用紙を用意する。結びの練習が終わったら，他の練習用紙や半紙，アクリルシート，水書用紙など，自分のめあてに応じた練習方法を選べばよいことを知らせる。 - 練習の前に，姿勢や筆の持ち方について，もう一度声かけをする。 - 個別に，よくなったところを称揚したり，めあてに沿った練習ができるように助言したりする。 - めあてを確認し，練習してきた結びや曲がりに気をつけて，まとめ書きをしようとする意欲を高める。 - 試し書きとまとめ書きを比べ，めあてに沿って自己評価をしたり，相互評価をしたりして，自分や友達の伸びを感じ，次時への意欲が高まるようにする。	